

一足早いクリスマスプレゼント

12/7 北海道コカコーラから福祉施設へ クリスマスプレゼントを贈呈

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（佐々木康行代表取締役社長）から社会貢献活動の一環として、12月7日（木）沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）に清涼飲料水240本がプレゼントされました。

この取り組みは、子どもたちや高齢者の方々へ笑顔を届けることを目的に、クリスマス時期に合わせて行われているもので、寄贈された清涼飲料水は町内老人ホームやデイサービスなどに配られました。



12/13 熟成が始まりました 雪なごり原酒科学館貯蔵開始

雪中ブランド酒「雪室熟成純米酒 雪なごり～瑞華～」の熟成が12月13日（水）から始まりました。

雪が深々と降る沼田らしい天候の中、作業が行われた今年は4,000リットルが貯蔵され、約90日の間、雪の科学館で雪冷熟成させる予定となっています。

雪なごりの原料となる酒米を生産している有限会社HJYさくらの山岡禎弘社長は「今年は酒米を優先的に考え、適期に収穫を行った。心を込めて育てたので、美味しいお酒になってほしい」と期待を膨らませていました。



12/19 被災時の居住スペース確保へ ムービングハウス協会防災協定調印式

災害時に迅速に応急仮設住宅を建設し、被災者へ良質な居住スペースを確保するため、一般社団法人日本ムービングハウス協会（札幌市：佐々木信博代表理事）と災害時における応急仮設住宅建設に関する協定を結びました。

本協定の締結により、移動式木造住宅の供給などにご協力いただき、居住スペースを確保することで被災者の生活の安定や健康被害リスクなどの軽減を図っていきます。

調印式で横山町長は「災害が起きた際にはご支援よろしく申し上げます」と話され、佐々木代表理事は「迅速に被災者が安全・快適な生活ができるよう取り組んでいきます」と述べられました。



12/ 笑顔で楽しいシーズンへ

21 ASHIMOI KANKO 高穂スキー場安全祈願祭

ASHIMOI KANKO 高穂スキー場の安全祈願祭が12月21日（木）執り行われました。

事故・ケガのない安全なシーズンになることを祈願するため、リフトを管理する索道の従業員やスキー学校、ロッジの食堂部の方々が参列され、索道の従業員を代表して岡田和久さん（更新）は「あらゆるケースを想定し、注意を払いながらすべての利用者が笑顔で帰ってもらえるよう取り組んで行きましょう」と挨拶されました。



12/ ありがとうございます

22 ひまわりの会からタオルの寄贈

ひまわりの会（山田はしめ代表）から12月22日（金）福祉施設へタオルの寄贈がありました。

この日、ひまわりの会の会員（写真右から中野智明さん、山田はしめさん、馬場美智子さん）が暮らしの安心センターを訪れ、沼田町社会福祉協議会の松田剛会長にタオル150枚を手渡されました。

このタオルは、旭寿園、和風園、なごみで使用させていただきます。



12/ スキー、スノーボードシーズンが到来

23 ASHIMOI KANKO 高穂スキー場オープン

ASHIMOI KANKO 高穂スキー場が12月23日（土）今年度の営業を開始しました。

当日は、リフトの無料開放が行われたことに加え、沼田スキー学校のレッスン初日ということもあり、約200名を超える多くの利用者で賑わいました。

中には、初めてスキー場を利用する子どももあり、親と一緒に楽しそうにスキーをしたり、雪遊びをする姿が印象的でした。



12/24 練習の成果を発表 ファミリーコンサート

沼田町ファミリーコンサート(同実行委員会主催)が12月24日(日)ゆめつくるで開催されました。

沼田町芸術文化普及促進事業として、沼田中学校吹奏楽部、沼田吹ガールズ、N-link.HIPHOP、沼田ウクレレサークル、歌声サークルが音楽やダンス等を披露しました。

また、ものまね芸人るみるみ氏がゲストとして参加し、大いに会場は盛り上がりました。



12/25 歳末、年始の安全のために 歳末特別警戒が始まりました

歳末・年始の犯罪や交通事故などを未然に防ぐため、町防犯協会沼田支部(石田隆広支部長)による歳末・年始特別警戒が12月25日(月)始まりました。

特別警戒にあたり観光情報プラザでは、夜高パトロール隊の出動式が行われ、石田支部長は「町民の安心・安全を守るため、残り数日間事故のないよう活動していきましょう」と話されました。

また出動式後の激励会では深川警察署沼田警察庁舎の三輪所長から「今年1年間の活動に感謝します。年末年始の防犯強化にご協力願います」と激励の言葉を送り、青色回転灯を付けた隊員がパトカーと共に防犯・交通安全街頭啓発パトロールを行い、町内に年末警戒を呼びかけました。



1/4 今年最初の運だめし 「新春」福引抽選会

毎年恒例新春イベント「新春福引抽選会」(沼田町商工会主催)が、1月4日(木)観光情報プラザで開催されました。

会場には、Numacaを持っている町民の方々に賑わい、サイコロの出た目の数で電子商品券の金額が決まる「新春運試しサイコロ」の特賞を目指し、抽選機を回していました。また来場者にはみかんが手渡され、お正月の沼田の風物詩を満喫していました。



1/ 災害に強い町づくりへ

10 令和6年沼田消防出初式

令和6年沼田消防出初式が1月10日（水）役場駐車場で執り行われました。

消防団員たちの力強い分列行進から始まった式典で、小西克典団長は「1月1日に起こった能登半島地震で被災された方々へのお見舞いと防災体制の確立し地域の中核的存在として技術向上、知識取得に努め、引き続き町民の生活を守るためご尽力願います」と挨拶され、横山町長は「町民の安心、安全を脅かす災害に的確に対応するため、今まで培った経験や知識を活かして災害に強い町民が安心して暮らせるまちづくりのためこれからも力を貸してください」と団員たちを激励しました。

式典終了後は町民会館へ移動し、北海道知事表彰など団員に対する伝達が行われました。



1/ エコキャップをリサイクル

17 小学生エコキャップ感謝状贈呈

沼田小学校（吉田純一校長）の児童会活動として、エコキャップを集め、リサイクル推進活動に貢献したことが称され、特定非営利活動法人エコキャップ推進協会（下田敬子理事長）から感謝状が贈られ、1月17日（水）吉田校長より伝達されました。

各学年から大量に集められたエコキャップは35kgもの量となり、前期児童会長の大山あんじゅさんは、「放送やポスターで声掛けを行い、全校児童みなさんがエコキャップの回収に協力してくれて良かったです」と話されました。



1/ 大きな滑り台が完成

18 松尾住設が小学校滑り台作成ボランティア

有限会社松尾住設（松尾孝次代表取締役）が1月18日（木）沼田小学校校庭にボランティア作業で雪の滑り台を作ってくださいました。

小学校横の校庭に高く積み上げられた雪山を、大型の重機で綺麗に成形していき、立派な滑り台が出来上がりました。この雪山は児童たちの遊び場やスキーの練習として活用させていただきます。

